

# 奈留島 奈留まちづくり協議会 2019.10月 第3号 まちづくり通信

奈留町の人口：男1,027人 女1,138人 合計2,165人（8月末現在）



## 奈留町のことを みんなで語りませんか？

別紙チラシでもお知らせしていますが、10月～11月上旬にかけて、奈留町に関することをテーマ別に語り合う「島トーク」を開催します。私たち奈留町住民は言わば地域の仲間、そんな仲間同士でワイワイ話し合う場にしたいと考えています。今回設定したテーマは「奈留町で子どもたちを育てる」「奈留町のイベント・行事」「奈留町のミライ」の3つ。講演やワークショップではなく、ただただみんなで語り合う時間ですので、日々感じていること、ずっと考えていたんだけど…というようなみなさんの地元への想いをお聞かせください。年齢制限はありませんので、お気軽にお集りください。また特別企画として、移住者・転勤者限定の会、45歳以下限定の会も開催しますので、該当される方はそちらもぜひご参加ください。

この「島トーク」で話していただいたことは、奈留町のまちづくりに反映するほか、来年度のまち協事業の検討にも役立つ予定です。課題が多い奈留町ではありますが、三人寄れば文殊の知恵！みんなでトークしませんか？

### ありがとう奈留高1年生！

9/8(日)に行われた奈留高校文化祭で1年生が制作した、地域のひとと踊る「恋するフォーチュンクッキー」のダンス動画はみなさんご覧になりましたか？保育園児や小中高生、消防署・郵便局・薬局の職員、コマートのみなさん、うに男など地域全体がダンスでひとつになったワクワクする作品でした（まち協事務局員も必死に踊りました）。地域のみなさんの明るさが伝わる仕上がりなので、今後も見る機会があればいいですね！



なんとも覚えが悪い私たちに根気強く教えてくれた高校生のみなさん、ありがとう！

thank you  
Dance!

みなさんこんにちは！  
毎週末イベントが多い季節です。  
体調を整えてみんなで  
楽しみましょう！

### 祝 矢神



◀今年新たに地区での敬老会を開催した泊町内会。  
みなさん楽しそうです！

### 祝 泊



## 各地区で敬老会が行われました

9/16の敬老の日に合わせて、9月は各地区で敬老会や敬老祝品の配布が行われました。今年は矢神町内会、大串江上町内会、泊町内会で敬老会が開催され、地域のみなさんの創意工夫を凝らした演出にどの会場も盛況だったようです。高齢者のみなさま、これからもお身体にお気を付けて過ごされてください。また敬老会開催や祝品配布を行って下さった地域の皆様もお疲れ様でした。



## まち協の活動を紹介しました

9/12(木)に五島市内の集落支援員5名、地域協働課の職員が視察に来島。便利 Car での移動販売やまごっころームの子育て支援の様子、また Herbal Forest で空き家活用の取り組みを紹介しました。参加した支援員からは「担当地区でも同様な買い物支援のニーズがあるから利用者の声が聞けて参考になった」との感想がありました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

## 奈留町 輝く人



ここでは、奈留町で頑張っている人をご紹介します！

### 奈留中学校 バドミントン部

(左から)

夏井 海聖 君

城山 海響 君

黒岩 翼 君

谷内 航 君



## 試合に勝った時、喜びを伝えたいのは親と家族と、奈留の人たち。

7/28に行われた長崎県中学校総合体育大会バドミントン競技男子ダブルスの決勝戦。そのコートに立ったのは、両チームとも奈留中学校の生徒たちだった。その奈留中対決は、両者譲らず第三セットまでもつれこむ大熱戦。表彰台1位2位を奈留の子ども達が独占し、九州大会に出場したことは、大きなニュースとして奈留にも届き、その喜びは地域のみならずまだ記憶に新しいはず。長崎県下男子中学バドミントンダブルス界で、最も実力があるのは、この奈留の子ども達という誇らしさ。普段の表情を知りたくて、練習終わりの彼らを訪ねてみた。

### バドミントンで見つけた仲間と夢

谷内航君と黒岩翼君は、県中総体を制した中学3年ペア。小学生の頃からバドミントンをはじめた彼ら。2年生の城山君と夏井君は「自分からやりたい！」というきっかけがあったものの、3年生の2人は意外にも「親に勧められて」「兄姉がバドミントンをしてたから」というのが理由だったそう。それでもバドミントンが大好きで辞めたいと思うことは決してなかったそう。谷内君と黒岩君がペアを組んだのは、小学6年生の時。2人で初めて出たKTN杯で優勝し、その才能はめきめきと開花。お互いのことをどう思うかと聞くと、互いに「すげえ打ってくれて、助かっている」と評し、2人で戦術を組み立て点を取り、勝ち進んでいくことをバドミントンの醍醐味として教えてくれた。九州大会で相手に点を離され勝てなかった経験から、高校では気持ちを強く持ち、全国を目指したいと語る谷内君。そして、練習がきつ過ぎて落ち込んだ時があるが、それがあるからこそ今の自分があると真っ直ぐに話してくれた黒岩君。バドミントンを通して自身の可能性を見出した彼らの夢は、これからも無限に広がっていきそうだ。

### 奈留中バドミントン部の強みとは

3年生ペアを「攻めてくる気持ちすごい」と話すのは、2年生の城山海響君と夏井海聖君。この2人も8/17に行われたKTN杯で見事優勝した強豪ペアだ。奈留中は強みは？問うと、「トレーニング」と即答。練習の中でダッシュや体幹トレーニングを30分間行っていること、日々の地道な身体作りの積み重ねこそが本番でのよりよいパフォーマンスに繋がることを身をもって感じていた。中学1年からペアを組む城山君、夏井君も「大事な場面でスマッシュを決めてくれ、カバーしてくれる」と互いに話す唯一無二の存在。2人の頼もしい活躍に、3年の谷内君も「今の調子でいけばいい」と太鼓判を押す。これからの目標は「全試合2セットで勝ち、今年2回戦で敗退した九州大会で優勝し、全国大会に出場すること」だ。試合に勝った時の喜びを「親と応援に出来なかった奈留の人たちにも伝えたい」と地元のことも忘れない2人。2人だけでなく4人とも、大会に行くにも練習試合をするにも不利な離島の環境の中、「奈留でバドミントンをできてよかった」と言い切る姿に、彼らの本当の強さを見た気がする。小さい時から切磋琢磨してきた仲間を認め、顧問の片岡先生には技術面だけでなくメンタル面も強くしてもらったと感謝を述べるスポーツマン精神に溢れる4人。最後に「もっと他のチームと練習試合がしたい」と語ったその想いを、サポートできるように、まち協も取り組んでいきますね！



4人を含めて奈留中学校バドミントン部の部員は9名（撮影当日は2名欠席でした）。バドミントンをこよなく愛す仲間たち。